

誰もが活躍できる社会の実現に向けた リカレント教育の推進について

【担当省庁】文部科学省

京都府では、産金官学労のオール京都で「京都府リカレント教育推進機構」を設置し、地域の企業ニーズをもとに特色ある教育プログラムの検討・開発を行うとともに、「京都府生涯現役クリエイティブセンター」において、キャリア相談からリカレント教育の提供、研修受講者の求職情報を踏まえた求人企業開拓・マッチングまで、きめ細かい支援を実施している。

人手不足が深刻化する中で、リカレント教育を通じた多様な人材の活用や、円滑な労働移動の重要性が高まっており、その実現には地域の企業や求職者に寄り添ったきめ細かな支援を継続的に行うことが必要であることから、地方自治体を含む広域連携機関・団体が連携して行うリカレント教育の取組について「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」に採択いただきたい。

【現状・課題等】

- 人手不足分野の中小企業等への円滑な労働移動を実現するためには、地域の企業や大学、支援機関等と連携し、ニーズを踏まえた人材育成や、きめ細かな求人企業開拓・マッチング支援を一体的に実施する必要性があり、国の施策展開に当たっては地方自治体をはじめとする地域ネットワークを活用することが有効
- 地域の実情に応じたリカレント教育の仕組みを深化させ、相乗効果を発揮するためには、地方自治体を含む広域連携機関・団体が相互に連携した取組を進めていくことがますます重要
- 京都府が構築した全国のモデルとなる「京都府リカレント教育推進機構」の体制を活かし、大学と企業が連携した、リカレント教育・スキリングのエコシステムを構築し、充実・強化を図るためには、更なる支援措置が必要

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 労働政策室(075-414-5082)
---------------	-----------------------------

【国の事業等】

■概算要求

▶ 産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業 23.2 億円（新規）

大学等が地域や産業界と連携し、人材育成ニーズを踏まえてリ・スキリングプログラムを開発・提供。アドバンスト・エッセンシャルワーカーや就職氷河期世代、労働者の AI の活用等の幅広いニーズに応え、処遇改善につながるリ・スキリングを推進し、産学が連携したリ・スキリング・エコシステムの構築を支援する。

【京都府の取組】

■京都府生涯現役クリエイティブセンター事業 （令和7年度予算 180 百万円）

リカレント教育・リスキリングの振興により、働く人の新しい学びを応援し、生涯働き続けることができる人材を育成する。

年度	人数	キャリア相談	リカレント研修	情報収集等	オンラインセミナー等	企業訪問等	マッチング
R3	2,938	145	1,198	1,595	—	—	—
R4	10,302	368	3,299	2,934	3,023	488	190
R5	21,270	385	7,738	5,711	5,218	1,924	294
R6	45,011	1,695	13,890	9,401	17,680	1,182	1,163
R7※	15,548	1,142	2,559	5,719	5,047	535	546
合計	95,069	3,735	28,684	25,360	30,968	4,129	2,193

※R7年度は7月末時点

■京都府リカレント教育推進機構（R4.7.28 設立）

「リカレント教育」及び「リスキリング」を振興するため、大学や専門学校等幅広い教育機関と産業界が連携して取り組みを進めている。

参画機関：府内大学（全大学）等教育機関、経済団体、金融機関、支援機関、行政機関等 71 団体